

## 第 3 章 計画の基本理念と基本方針

---

## 1. 計画の基本理念と基本方針

食べることは、人間が生きていく上で欠かせないものであり、「食育」は子どもから大人まで、健全な心身を培い、豊かな人間性を育むために不可欠なものです。

篠山の恵まれた自然環境を活かして、家庭はもとより、保育所、幼稚園、学校、地域、食に関わるあらゆる関係機関・団体等の連携により、食育を市民運動として展開し、心身ともに健やかに安心して暮らせるまちづくりを目指します。

### 基本理念

ささやまの豊かな自然から育まれた  
心とからだを大切にし、生きる基本となる  
“食” から始まるまちづくりを目指す

### 基本方針

1. 子どもから大人まで、市民一人ひとりが「食」を楽しみ、健全な食生活を実践する
2. 篠山の自然の恵みと地域のつながりを大切にし、安全安心の食生活を実践する
3. 篠山の伝統的な食文化を継承する

### 計画の方向性

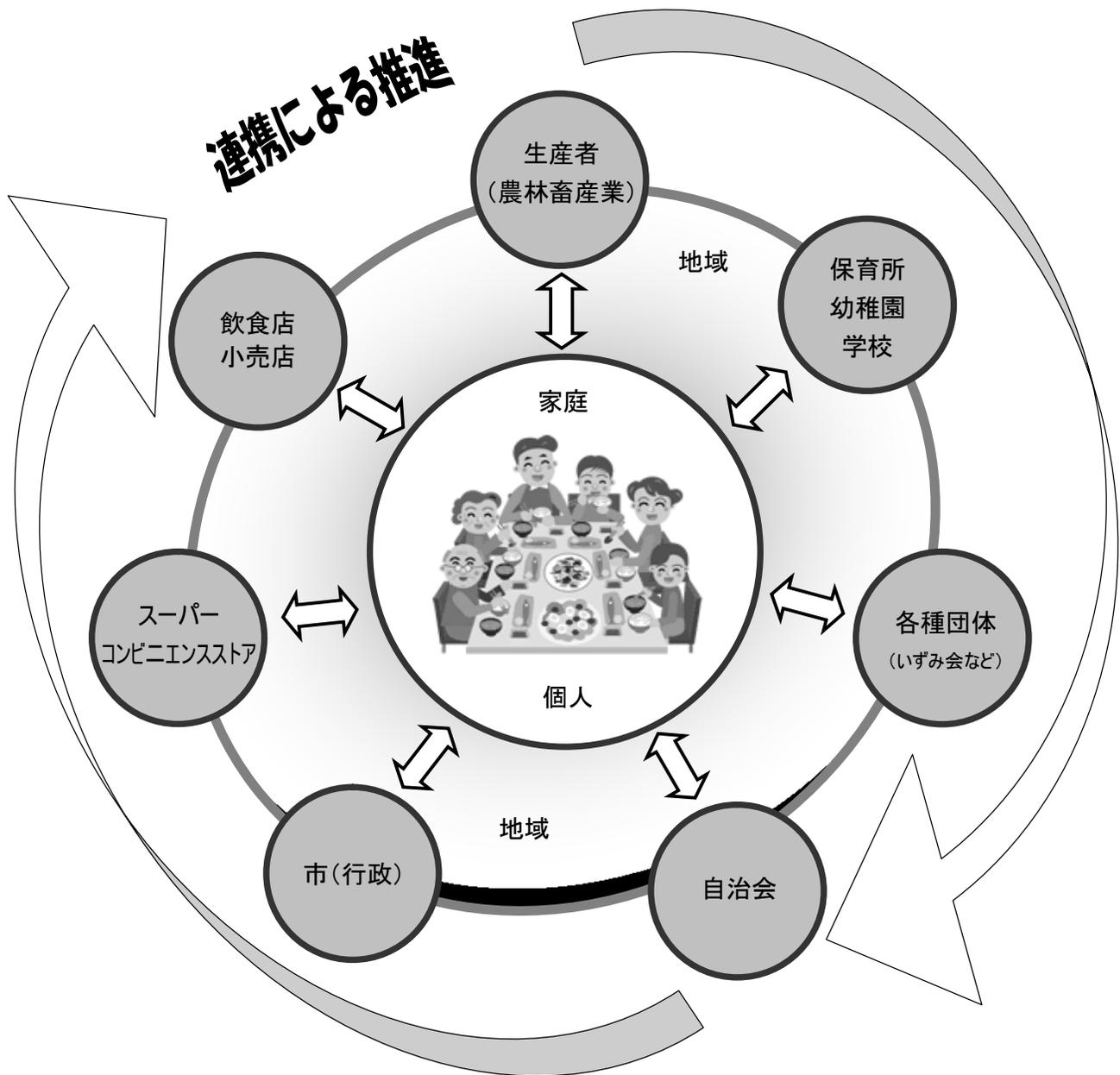
1. 家庭における食育の推進
2. 保育所、幼稚園、学校における食育の推進
3. 地域における食育の推進
4. 篠山の豊かな農産物の活用の推進
5. 食育を進めるための環境づくりの推進

## 2. 計画の推進体制

篠山市の食育は、市民をはじめとし、家庭や地域、保育所、幼稚園、学校、生産者、飲食店・小売店などの事業者、食に関わる各種団体、行政などが協力し、つながり合いながら推進していきます。

そのため、地域で活動している各種団体との連携を充実するとともに、食育活動が活性化されるよう、食育について広く周知し、啓発を図ります。

また、市（行政）においては健康づくり、農林畜産業、教育をはじめとするあらゆる分野において食育の施策を推進します。





#### ④食への感謝の気持ちをあらわす言葉 「いただきます」

「いただきます」という言葉は、食事の前のあいさつというだけではなく、食を大切に  
する気持ちや自然の恵み、食べ物を作ってくれた人への感謝の気持ちなどが含まれていま  
す。このような気持ちは食育を進める上での基本であると言えるのではないのでしょうか。

元気でおいしく食事ができることに感謝して、誰  
もが元気に「いただきます！」と言えるような気持  
ちを育みたいものです。

平成 18 年度の調査結果（「食育に関する意識調査」）によ  
ると、「いただきます」や「ごちそうさま」といった食事のあ  
いさつをしている人の割合は、20 歳以上で 83.1%であり、  
そのうち「必ずしている」人は 59.3%となっています。

